

～応援されること～ それは世界制覇への原動力

パラサイクリング 日本代表を 応援しよう



市では、スポーツによるまちづくりの一環として、平成27年から山陽オートレース場をパラサイクリング日本代表の練習場として提供しています。これまで、練習合宿の期間中には、市内小中学生との交流、市民との自転車走行会、講演、あいサポートスポーツフェスティバルなど、様々な交流機会がありました。平成30年4月には、本市をパラサイクリング日本代表の事前キャンプ地とすることが決定しました。今後も選手との交流機会を設けるなど、トップアスリートを応援する気運を高め、地域の一体感の醸成に努めるとともに、障がい者にも優しいまちづくりにつなげていきます。みんなでパラサイクリング日本代表を応援しましょう！



「2018UCI(国際自転車競技連合)パラサイクリング賞」を受賞



前回の練習合宿期間中であつた11月20日、2018UCIパラサイクリング賞(年間最優秀選手賞)を受賞した野口佳子選手が、藤田市長を表敬訪問。野口選手は、パラサイクリング・ロード世界選手権の女子C2クラス(高次脳機能障害等)で優勝し、2年連続で世界チャンピオンに。また、世界の主要大会などで8戦7勝と抜群の成績を収め、日本人初のパラサイクリング賞を受賞されました。野口選手は、「世界が認めてくれて、本当に嬉しい」と喜びを語りました。また、「長時間走れる練習環境は他になく、ありがたい。この環境が今回の結果につながつたと実感しています。選手のみならず毎回、山陽小野田市に来るのを楽しみにしています」と感謝を述べました。今後の抱負については、「常に上を目指します。東京パラリンピックで結果を出すことはもちろん、競技を超えて、子どもたちに夢を与える存在になりたい」と誓いました。